

ふじのくに 静岡みなと通信

第32号
2023.1.23



御前崎港全景(提供:御前崎市)

～ 目次 ～

- 静岡みなと通信「第32号」発行に寄せて(御前崎市長)…… 1
- 清水港 脱炭素社会に貢献する港を目指して…………… 2
- みなとニュース…………… 3
- 静岡県港湾振興会の活動報告…………… 10
- みなと自慢(伊東港)…………… 11
- 港こぼれ話…………… 13
- 港湾関係行事予定…………… 15

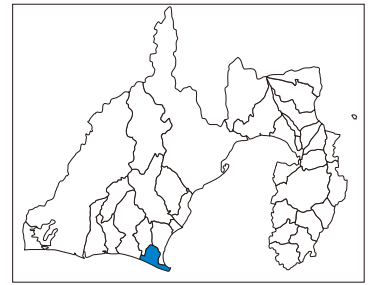


「竹あかり」と伊東温泉観光・文化施設「東海館」(提供:伊東市)

静岡みなと通信「第32号」発行に寄せて



静岡県港湾振興会副会長
御前崎市長 柳澤 重夫



御前崎港は昭和46年の開港以来、静岡県の重要港湾として着実に港の整備を進めるとともに利用拡大を図ってきたところです。

平成3年には、RORO船による定期航路が開設され、平成9年から完



御前崎港国際コンテナターミナル



自動車輸送船への搬入

成自動車の輸出が始まりました。さらに、平成16年にコンテナクレーンを備えた国際物流ターミナルの供用を開始し、外航定期コンテナ船が就航するなど、静岡県中西部地域の産業を支える物流の拠点として、また、海洋レクリエーションの利用やクルーズ船の寄港など賑わいの拠点にもなっています。

御前崎港は、昨年度に開港50周年を迎え、今年度にも、新型コロナウイルスの拡大により延期となった各種船舶の寄港・一般公開などの記念イベントを開催しています。



海上自衛隊多用途支援艦えんしゅうの一般公開

令和4年9月に、海上自衛隊の多用途支援艦「えんしゅう」が御前崎港に寄港し、船内の一般公開、御前崎港を紹介するパネルや自衛隊の装備品の展示などを行い、2日間で約2,000名の方に御来場いただきました。さらに、11月には、帆船「オーシャンプリンセス」、帆船「みらいへ」がそれぞれ御前崎港に寄港し、船内の一般公開や港内遊覧を開催いたしました。

昨年の夏には、「御前崎みなと夏祭」をマリンパーク御前崎で3年ぶりに開催し、約3,000発の花火が御前崎の夜空を彩り、約41,000人の方に御来場いただきました。



御前崎みなと夏祭の花火大会

御前崎港で、令和4年10月に、国内初の技術を採用した国内最大級のプラスチックのリサイクル工場が稼働を開始しました。さらに、今年7月には、発電規模が75MWの木質専焼バイオマス発電所が稼働し、御前崎港で木質燃料の輸入を開始します。港湾の利用促進だけでなく、新たな雇用も生まれ、地域の活性化に期待しているところです。

今後も静岡県港湾振興会の皆様と共に港湾・海岸整備及び地域活性化に積極的に取り組んでまいりますので、皆様より一層の御支援、御指導のほど、よろしくお願いいたします。

清水港

脱炭素社会に貢献する港を目指して

【はじめに】

本州のほぼ中央、静岡県中部地区に位置し、日本一深い駿河湾の西側に面する清水港は、霊峰富士を仰ぎ天然の防波堤である三保半島に抱かれた、古来より東西を結ぶ交通の要衝として栄えてきた日本屈指の良港です。

1899年に開港場の指定、1952年に国際貿易港として特定重要港湾の指定がなされ、2011年の港湾法改正により、県内唯一の国際拠点港湾に位置付けられています。

港の背後圏には、様々な産業が集積し、東西方向に走る東名高速道路や新東名高速道路、国道1号の主要幹線道路が近接することから、全国4位の製造品出荷額(2020年工業統計調査)を誇る「ものづくり県」静岡や、中部圏など東海地域の経済を支えています。また、2021年8月には、中部横断自動車道の静岡・山梨間が全線開通したことから、南北方向も含めた道路ネットワークが格段に充実し、農産物の輸出促進など甲信地域にとっても利用しやすい海の玄関となっています。

一方、世界文化遺産「富士山」や構成資産である名勝三保松原を有する風光明媚な景観や、陸・海・空など交通手段に恵まれた立地条件から、2017年に国内最初の国際旅客船拠点形成港湾の1つに指定されるなど、物流産業のみならず海洋文化・観光・レジャー産業等の交流拠点としての役割を担っています。

清水港は、常に先進的な取組にチャレンジしており、近年では、農産物の輸出促進、荷役機械の遠隔操作化や、カーボンニュートラルに向けた取組を進めています。

【清水港カーボンニュートラルレポート(CNP)形成に向けて】

本県では、2022年3月に静岡県総合計画「静岡県の新ビジョン 後期アクションプラン」を策定しており、「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」を目指すなかで、港湾における「カーボンニュートラルレポートの形成」を主要な施策の1つとしております。

2020年7月、県とENEOS(株)は「静岡市清水区袖師地区を中心とした次世代型エネルギーの推進と地域づくりに係る基本合意書」を締結し、2021年3月の港湾計画の改訂において、同地区の一部を次世代型エネルギーの推進ゾーンと位置付けました。

2021年11月、清水港を核としたカーボンニュートラルの実現に向けて、官民連携して「清水港CNP協議会」を設立。現在、構成メンバーは関係団体を含め36者となり、今年度中を目途に清水港CNP形成計画を策定予定です。

清水港CNP形成に向けた県の取組



カーボンニュートラルレポート形成計画策定に先駆けて、令和4年度から、脱炭素化に向けた取組を率先して推進

- ▶ 公共施設のZEB化の推進(照明灯の改修+太陽光発電)
- ▶ 照明灯改修の推進(ナトリウムランプ⇒LED)
- ▶ 公共施設における使用電気の再生可能エネルギーへの転換を促進
- ▶ 県所有の車両及び業務艇の更新時、低環境負荷型の導入を促進



空から見た清水港と富士山

2022年4月、静岡市は国から「脱炭素先行地域」に県内で唯一選定され、清水港の江尻地区(清水駅東口エリア)と日の出地区(日の出エリア)が対象エリアとなったことから、今後、静岡市の取組に協力しながら、臨港地区の脱炭素化を推進します。

国際物流の結節点かつ産業拠点である港湾は、荷主企業からもゼロエミッションを求められる動きがあります。コロナ禍や2050年脱炭素社会の実現など、産業構造やライフスタイルの大きな変革期をチャンスと捉え、できることから脱炭素化に向けた取組を推進し、環境と経済が両立した世界の競争から選ばれる港として、清水港から着実に推進していきます。



みなとニュース



農産物の輸出促進(連携計画の策定と取組状況)

清水港からの農産物の輸出拡大を目指し、静岡県では、国、市、港湾物流事業者などとの官民連携により、「産地・港湾連携型農林水産物・食品輸出促進計画」を令和3年8月に策定しました。

この計画では、静岡県だけでなく、山梨県や長野県、九州地域の農産物を静岡市中央卸売市場に集荷し、そこでコンテナ詰めした後に、清水港から海外へ輸出することとしています。農産物が清水港へ運ばれるまでの間、一定の温度を保つため、農産物をコンテナに詰める際に外気に触れないようにする専用の積み込み施設を、静岡市中央卸売市場に整備したほか、清水港袖師埠頭に冷蔵冷凍コンテナへの電源を供給するプラグを整備しました。

昨年は、山梨県の桃やシャインマスカット、静岡県の野菜などが、清水港からシンガポールや香港へ輸出されました。これからも、各産地から届けられた新鮮な果物や野菜を清水港から海外の消費者へお届けしていきます。



輸出された山梨県の桃



コンテナ詰め(バンニング)の様子

御前崎港海岸で久々生海岸清掃活動を実施

令和4年12月15日(木)、御前崎港西側の久々生海岸において、御前崎港港湾建設工事安全協議会、同海岸でコアマモの保全活動を行っているNPO法人団体、関係行政機関の共催による海岸清掃を行いました。

この海岸には、二酸化炭素(CO₂)を吸収するブルーカーボンとして注目され、本県の準絶滅危惧種にも指定されている「コアマモ」が自生しており、海岸に漂着したゴミや流木等の清掃を行うことは、アマモ場の保全にも寄与しています。海岸清掃後には、きれいになった海がより豊かになることを願い、マダイの稚魚400匹の放流も行いました。

県内各地では、様々な団体による海岸などでの清掃活動が行われており、今後も美しい砂浜を目指して海岸清掃を実施していきます。



清掃活動状況



水中で自生するコアマモ

「みなとオアシス下田」が登録されました！

令和4年1月14日(金)、国土交通省港湾局により「みなとオアシス下田」が登録されました。

「みなとオアシス下田」は、古来より東西海上交通の要衝となる重要な港であり、幕末には、日本で初めての開港場となるなど日本開国の表舞台として、日本の歴史上に多くの名を残している下田港に面し、下田市の情報発信拠点「開国下田みなと」を代表施設とし、金目鯛の水揚げ日本一の「下田魚市場」、大きな芝生広場や人工磯など港を見ながらゆっくり過ごせる「まどが浜海遊公園」などを構成施設としています。

下田港周辺では、毎年7月に「国際カジキ釣り大会」が開催される他、毎年5月に「黒船祭」(下田公園、他)、6月に「あじさい祭」(下田公園)が開催されます。

下田市では、「みなとオアシス下田」を陸と海のネットワークを活かしたまちの玄関口として、港を中心とした賑わいのエリアを創出していきます。

是非、「みなとオアシス下田」へお越しください。



代表施設「開国下田みなと」



国際カジキ釣り大会

カーボンニュートラル社会に向けて(田子の浦港)

令和4年6月より、田子の浦港の主要貨物の一つである石炭を利用して火力発電を行っていた鈴川エネルギーセンターが、発電燃料を木質ペレットに変更し、バイオマス発電にシフトしました。

バイオマス発電では、微細な石炭と、木質ペレットを混合利用するところが多い様ですが、同センターでは、木質ペレットのみでの発電で、石油類は助燃用の重油を使うだけです。

この燃料の転換で、同センターの話では年間67万トンのCO₂の削減につながります。

これにより、田子の浦港では、従来主要貨物の一つであった石炭の一部が木質ペレットに置き代わっていく見込みです。

また木質ペレットの荷揚げのため、専用のベルトコンベア施設や、一時保管のための巨大なサイロが整備されました。

右の写真は木質ペレットの荷揚げ装置ですが、以下の手順で荷揚げします

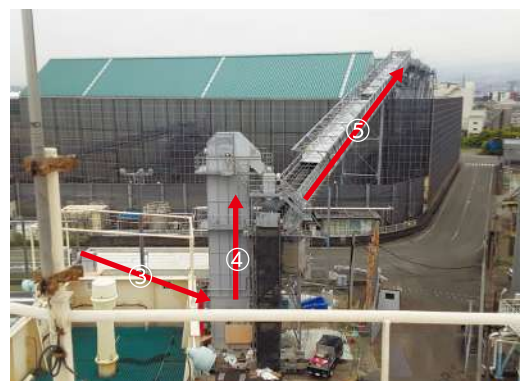
- ①クレーン車のバケットで船から移動式のベルトコンベアに荷下ろし
- ②ベルトコンベアで後方の横行ベルトコンベアに木質ペレットを積み込み
- ③横行ベルコンベアで木質ペレットをエレベータに移動
- ④エレベータで木質ペレットを上方に持ち上げ
- ⑤縦行ベルトコンベアで、木質ペレットをサイロに移動し、サイロ内に保管

サイロからは、トラックで順次発電所に搬送しています。

カーボンニュートラル社会に向けて引き続き、港湾における取組を進めていきます。



陸揚げ用設備 (左側は貨物船)



巨大サイロ(みどり屋根)とベルトコンベア(灰色)

3年振り「浜名湖ミナトリング2022」開催

令和4年7月16日(土)、17日(日)の2日間、浜名湖を満喫できるイベント「浜名湖ミナトリング2022」が3年振りに開催されました。

浜名湖ミナトリングは、浜名湖周辺で育まれた歴史・文化や産業、レジャー、食材などを感じ、楽しんでもらうことで、浜名港を賑わいと魅力発信の拠点としていくための取組として平成29年度に開始されました。漁船に乗っての水郷めぐりや、プレジャーボートの体験試乗、船の展示、ガイドサイクリング、働く船や車の展示、体験イベントなど、大人から子どもまで楽しめるとともに、車エビの塩焼きや舞浜しらすコロッケ、しらすの天ぷらなど、浜名湖の食も味わえる盛り沢山の内容で、来場者は約5,000人に上り、大変な賑わいを見せました。

また、今回は世界的に有名なカジキ釣り大会の名を冠した、全国初のイベントとなる「浜名湖キューバヘミングウェイカップ」が併催され、カジキ釣り競技のほか、キューバとの文化交流、親子釣り体験教室など多彩な催しが行われました。



漁船に乗り水郷めぐり



働く車「起震車」による震度7の体験

おどろっかDEコロナ・ゼロ宣言

おどろっかさい

第21回踊夏祭・第16回大井川港トライアスロン大会

令和4年7月17日(日)、焼津市大井川港特設会場で「第21回踊夏祭(おどろっかさい)」と、同時開催の「第16回大井川港トライアスロン大会」が行われ、市内外から4,500人を超える来場者で賑わいました。

踊夏祭は、旧大井川町の時代から毎年開催されている一大イベントで、「踊りがまちを揺らす 踊りがまちを変える」を合言葉に、観光の目玉、三世代交流の場として「市民総参加のイベント」を市民の手作りで行うものです。

ステージでは、各チームが「焼津の踊りチャレンジ」「フリーステージ」など、躍動感ある踊りを披露しました。その他、太鼓保存会の演奏や地元高校生のステージ、さらには「SKE48恋人の聖地PRトークライブ」などもあり、大人から子どもまで楽しめるイベントが繰り広げられました。

また、「大井川港トライアスロン大会」では、大井川港、大井川河川敷マラソンコースを活用し、「スイム・ラン」で176名の選手がタイムを競いました。



ステージでの躍動感ある踊り



トライアスロン大会(港内でのスイム)

活発で魅力的な「ひらく・みなとまち・しみず」に向けて

(一社)清水みなとまちづくり公民連携協議会は「清水港及びその周辺において“みなと”と“まち”を一つの資産として最大限に活かす“みなとまちづくり”を公民連携により推進する」を目的に静岡県、静岡市、港湾関連企業3社、金融機関2行、鉄道会社1社が2018年に設立した組織です。2019年に静岡商工会議所入会、2021年に一般社団法人へ移行、現在官民合わせて21の団体が参画し、みなとまちづくりに係る事業を行っています。

2019年に策定した『清水みなとまちづくりランドデザイン』では、清水港と周辺のこれから20年の将来像として、これまで産業中心だった港湾を市民利用や観光に広げ、産業と市民が共存する、活発かつ魅力的な“ひらく・みなとまち”を提案しました。この中でみなとまちづくりを先導する6つの地区(リーディングプロジェクト)を定め、具体的な動きが現れた地区から、事業者・行政等の計画、公募アンケート、シンポジウムでの公開説明、地元意見等を踏まえて実行計画(ガイドプラン)の策定を進めています。

2022年7月に『清水駅東口・江尻地区ガイドプラン』の策定が完了し、現在『日の出・巴川河口地区ガイドプラン』の検討を進めているところです。

“ひらく・みなとまち”の実現には、清水に関わる多くの様々な方々の共感・共有が不可欠です。今後も清水みなとまちづくり公民連携協議会にご理解ご協力をいただくとともに、シンポジウムや情報発信施設「みなとまちテラス」を通して参加・関心をお寄せいただければと考えています。



清水駅東口・江尻地区ガイドプラン 将来イメージ

熱海港初となる 1年で3回目の大型クルーズ客船寄港

令和4年9月14日(水)、熱海港に今年度3回目となる大型クルーズ客船が寄港しました。

寄港したのは「にっぽん丸」(商船三井客船株式会社)で、昨年の4月16日(土)に熱海港へ2年4ヶ月ぶりに寄港したのを皮切りに、その後7月29日(金)には2回目の、そして9月14日(水)には3回目となる寄港となりました。1年に3回の寄港は熱海港初となります。

熱海市職員が掲げた「ようこそ伊豆へ!」と書かれた横断幕に迎えられ岸壁に降りた乗船客は、十国峠や来宮神社を巡るバスツアーに参加したり、市の観光案内ブースで観光情報を受け取った後、タクシーや徒歩で市内の観光地へ出かけたりと、思い思いに熱海観光を楽しんだ様子でした。

にっぽん丸
全長:166.65m
全幅:24m
総トン数:22,472トン
総乗客定員:532人



熱海城から見た熱海港



出港時のにっぽん丸

砕氷艦「しらせ」一般公開及び特別公開

令和4年9月16日(金)～19日(月)にかけて、砕氷艦「しらせ」が4年ぶりに清水港に寄港しました。「しらせ」は、文部科学省国立極地研究所の南極地域観測隊の輸送・研究任務のために建造された南極観測船で、運用は海上自衛隊により行われています。

17日(土)、18日(日)は一般公開及び特別公開が実施され、約9,000人の見学者が訪れました。見学者は、船内の装備や甲板からの景色を写真に収めたり、南極での映像や氷を見たりすることで南極観測事業の実態を学ぶことができました。

同日には、「清水海洋展2022」(静岡市主催)も開催されました。南極に詳しい研究者や医者等の講演、南極の貴重な資料展示、その他、海上自衛隊の活動や清水周辺のまちづくりなどの紹介ブースの出展があり、しらせの寄港をより一層盛り上げていました。



砕氷艦「しらせ」の寄港



歓迎式典



艦上からみた日の出埠頭

田子の浦港 第3波除堤改良

田子の浦港では、南海トラフ巨大地震による津波から、港周辺の住民・企業の生命財産を守り、地域経済への甚大な被害を防ぐため、富士市が中心となり「田子の浦港振興ビジョン」を策定し、防災対策の構想として「ソフト対策とハード対策を組み合わせた多重防御により、レベル2津波による被害を最小限に抑える」事を目指しています。

現在、富士市からの委託を受け、県はハード対策として航路部に位置する第3波除堤の機能強化を実施しています。具体的には、波除堤内部の地盤改良を行うことで、南海トラフ巨大地震に耐えられる構造となり、港内への津波の流入を最小限に抑える事が可能となります。

工事施工時には、富士市長をはじめとする富士市幹部職員の方々が視察に訪れ、事業進捗や工事内容を現場で確認していただきました。また、同時に富士市土木技術職員を対象に、技術力向上を目的とした現場研修会を開催しました。



西第3波除堤

東第3波除堤

ハード対策を進める西第3波除堤



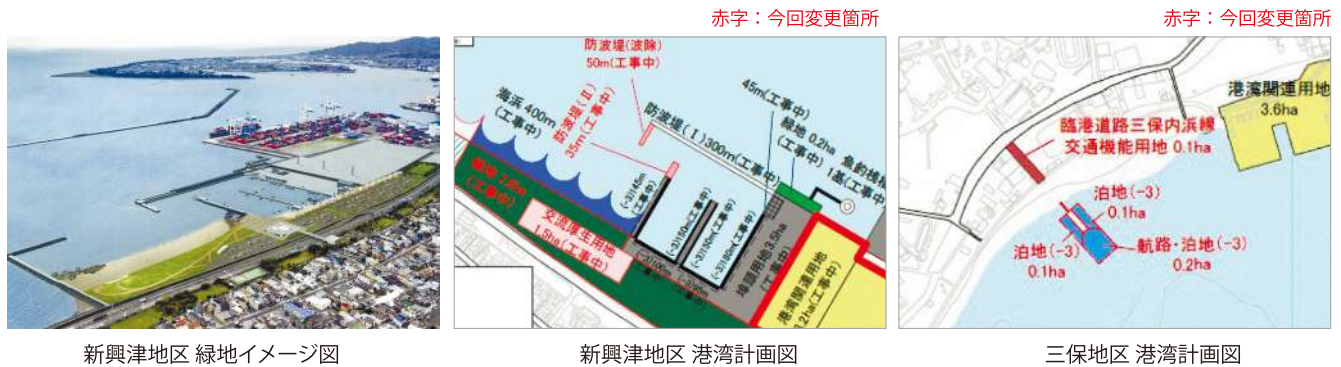
施工業者に質問する小長井富士市長

清水港港湾計画の変更

令和3年3月に改定した「清水港港湾計画」について、令和4年11月にその一部を変更しました。

新興津地区に計画されている小型船だまりについて、維持管理用の浚渫船や海上バス等の利用を考慮し、小型船だまりの入口を広く(防波堤を見直し)しました。また、小型船だまりの背後地では、地元とのワークショップ等を通じて利用方法を検討中であり、その内容に合わせ、JR興津駅の近くに賑わい施設が整備できるよう土地の利用計画を見直しました。

さらに、三保地区では、大型プレジャーボートの利便性の向上を図るため、泊地や航路、臨港道路を新たに計画に位置付けました。



御前崎港バイオマス発電の燃料受け入れ整備

御前崎港の西埠頭では、令和5年7月の運転開始を目指し合同会社御前崎港バイオマスエネルギーによる「御前崎港バイオマス発電所」の建設が進んでいます。発電出力は約75MWで、年間で一般家庭約17万世帯の使用電力量に相当する電力を発電する計画です。

発電の燃料となる木質ペレットやパームやし殻は、北米や東南アジアなどから、年間約30万tを大型の燃料運搬船により調達する計画です。

新たな貨物の受入れにあたり、船の接岸、荷役から陸上運搬経路等について関係者で調整した結果、係留施設の改良、運搬路の整備、民間が導入する荷役機械の駐機場の整備を県が実施することとなり、現在、整備を進めています。

バイオマス発電は、化石燃料による発電と比べ、燃料(木材)成長過程でCO₂を吸収、炭素を隔離した植物由来の燃料によるカーボンニュートラルな発電方法のため、地球温暖化の抑制が期待されます。



「御前崎港バイオマス発電所」建設状況(令和4年9月30日撮影)



バイオマス燃料の港湾での受入れ環境整備の概要



バイオマス発電の完成イメージ((株)レノバHPより)

「第14回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in沼津」 令和5年10月28日(土)、29日(日)に開催決定!

令和4年3月23日(水)、「みなとオアシス沼津のSea級グルメ レシピコンテスト」の最終審査会を開催し、令和5年度に開催が決定している「第14回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in沼津」に出品する、沼津代表のSea級グルメが「沼津小判めし」に決定しました。また、同審査会において、開催日を令和5年10月28日(土)、29日(日)にすることを発表しました。

レシピコンテストでは、沼津市内で水揚げ・生産・加工された水産物を1品以上含むことなどを条件として、沼津市内在住または在勤・通学の方や



1次選考に選ばれた5つのレシピ



沼津大会の開催日決定(レシピコンテスト入選者と)

市内に本社または支社がある事業者の方々から幅広くレシピを募りました。70レシピの応募の中から、1次選考にて5レシピを選定し、料理のプロなどを含む審査員の試食による審査を経て、「沼津小判めし」が選定されました。

レシピコンテストで選定された「沼津小判めし」のレシピを基に、事業者独自のアレンジを加えて、全国大会に出店する事業者を決定するイベント「沼津Sea級グルメグランプリ」を令和4年7月3日(日)、沼津港(沼津魚市場第一市場)にて開催しました。「沼津小判めし」を、美味しく安全で一定の生産量を確保する目的で、レシピ募集の段階から告知を行い、市内の7事業者がアレンジしたアイデア溢れる「沼津小判めし」を披露し、販売終了時間を待たずに全てが完売する盛況ぶりでした。グランプリには、沼津港に店舗を構える「まるが港食堂」((株)SANKO MARKETING FOODS)が輝きました。



「沼津Sea級グルメグランプリ」会場の様子



全国大会に出店する「沼津小判めし」

全国大会に出店する「沼津小判めし」は2種類、アジの干物と炊き込んだご飯の上に、アジの干物をふんだんに載せた、冷めても美味しく味わうことができる「アジの干物の小判めし」と、カレー風味にココナツの粉末をプラスし、ちょっぴりオリエンタルに仕上げた「本エビ(深海魚)の小判めし」です。

「沼津の美味しい」が詰まったSea級グルメが、全国大会でお待ちしております。

※「Sea級グルメ®」は一般社団法人ウォーターフロント協会の登録商標です。

清水港海岸 日の出地区 防潮堤工事着手(エスパルスドリームプラザ新館前)

清水港日の出地区では、国、県、静岡市及び民間が連携し、国際クルーズターミナルや緑地・防潮堤の整備、海洋・地球総合ミュージアムや大型商業施設の新設等のウォーターフロント開発を進めています。

特に防潮堤は、中心市街地沿岸部(日の出地区～江尻地区間)の約3.7kmが未整備であり、地元より早急な整備が望まれていることから、県は日の出地区が令和3年度国庫補助事業として新規採択されたことを受け、調査設計を進め、今年度より台風による高潮高波被害が頻発する日の出船だまり周辺から工事に着手しています。

また、今回の防潮堤整備箇所に関しては、周辺環境との調和や富士山への景観に配慮し、普段は来訪者が憩える場となるよう、防潮堤の海側を盛土し、緩い傾斜の芝生緑地とするとともに、隣接する大型商業施設から直接アクセスできるボードウォークを整備することで、周辺環境に溶け込む施設となるよう計画しております。

現在は、防潮堤の本体工事に伴い、基礎となる地盤を強固なものにするための地盤改良工事を実施しており、令和5年秋の商業施設のオープンに合わせ、緑地と一体となった防潮堤の完成を目指して整備を進めています。



商業施設・防潮堤・緑地整備箇所



完成イメージ図(提供：(株)ドリームプラザ)

静岡県港湾振興会の活動報告

令和4年度日本港湾協会定時総会が3年ぶりに通常開催

令和4年5月25日(水)、コロナ禍において小規模開催が続いていた日本港湾協会定時総会が3年ぶりに長崎県佐世保市のアルカス佐世保で開催され、全国から自治体首長ら約900人が出席し、当振興会からは柳澤副会長(御前崎市市長)をはじめ16名が出席されました。

令和4年度静岡県港湾振興会総会を3年ぶりに対面で開催

令和4年7月25日(月)、コロナ禍において書面開催となっていた静岡県港湾振興会総会を3年ぶりに静岡市内のホテルに会員が一堂に会し、対面で開催しました。なお、同日開催を予定していた静岡県港湾整備促進大会は中止となりましたが、総会において「港湾整備の促進に関する決議」を行い、関係各方面に対して要望活動を展開していくこととしました。

経済と暮らしを支える港づくり全国大会に参加

令和4年10月27日(木)、東京の砂防会館において、日本港湾協会など、港湾関係5団体による実行委員会が主催する、「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」が開催されました。

当振興会からは田辺会長(静岡市長)、小長井副会長(富士市長)、柳澤副会長(御前崎市市長)、杉本副会長(牧之原市長)、頼重副会長(沼津市長)、齊藤熱海市長、松木下田市長、中野焼津市長、岡部南伊豆町長、星野西伊豆町長をはじめ41名が出席しました。

大会では、来賓として多数の国会議員も出席され、田辺静岡市長をはじめ港湾所在市町村長の代表による港湾整備・振興に関する意見表明、港湾整備の推進に向けた決議が行われました。

大会終了後は、県内選出の国会議員へ要望活動を行いました。

大会に先立ち、令和4年10月26日(水)、帝国ホテルで東海地区港湾協議会主催による国会議員との懇談会が行われ、御出席いただいた市町村の代表が意見発表・要望を行い、港湾整備への支援を訴えました。

また、帝国ホテルでは「日本港湾協会創立100周年記念式典」も開催され、多くの会員等関係者が参加されました。式典では、10年ごとに表彰する港湾特別功労者表彰式が行われ、静岡県からは、鈴木 尚様(前富士市長)、石原 茂雄様(前御前崎市市長)、西原 茂樹様(前牧之原市長)が受賞されました。



経済と暮らしを支える港づくり全国大会の様子

みなと“白慢”

伊東市 観光課

～伊東市の観光～

1.伊東市の温泉

伊東市は伊豆半島の東海岸にある、海と山に囲まれた自然豊かな観光地です。

「伊東温泉」の名称で温泉地としても愛される本市は、県内1位の総湯量を誇り、毎分2万7358ℓ(令和4年7月時点)もの湧出量となっています。

旅館やホテルでも、施設内に自家源泉を持つところも多く、様々な場所で温泉を堪能できます。

「伊東温泉」の歴史は古く、その発見は平安時代ともいわれており、江戸時代には3代将軍・徳川家光に湯治湯として献上した実績もあるほどです。



伊東市俯瞰

2.伊東市の海



海水浴



地引網



ダイビング

JR「伊東駅」から徒歩5分のところにあり、市街地の目の前に広がる「伊東オレンジビーチ」。

遊歩道が整備された海岸沿いにはヤシの木が揺れていて南国ムードが漂い、夏には海水浴場としてたくさんの観光客でにぎわいます。旅館や温泉施設がある伊東温泉では、施設からビーチに直行し、海で遊んだ後は温泉でリラックスという楽しみ方もできます。

また、5月、6月の毎週日曜日早朝に、市内の旅館やホテルに宿泊されたお客様を対象に、「観光地引網体験」を開催しており、獲れた魚は参加した子どもに配布しています。

さらに、黒潮・親潮の影響で寒暖それぞれに生息する多種多様な生物が集まる伊東沖はダイビングスポットとしても有名です。生物だけでなく、長い年月が作り出した複雑に入り組んだ溶岩地形も特徴的で、生物たちの絶好のすみかとなっています。

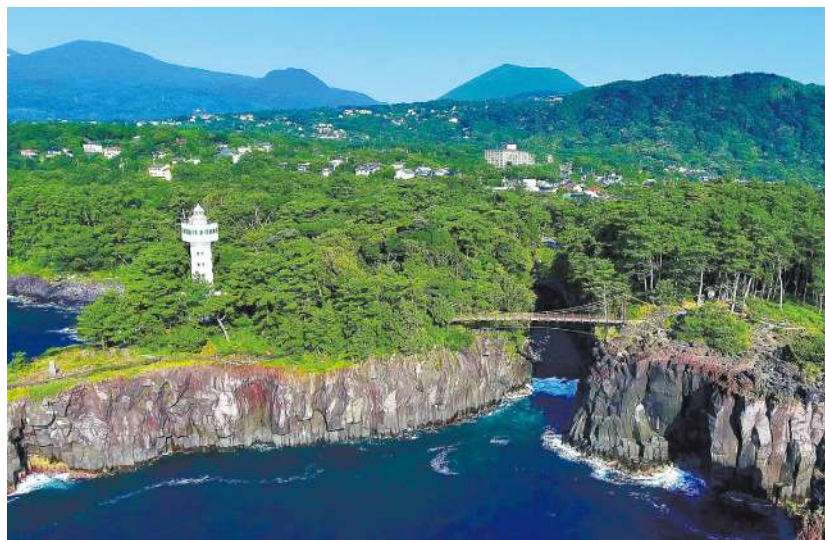
ダイビング以外にもサーフィンやドルフィンウォッチング等、様々なマリナクティビティを楽しむために観光客が本市を訪れます。

3.伊東市の花火大会

本市では、例年夏に多くの花火大会を開催しています。令和4年度は、伊豆最多である16回もの花火大会を開催しました。その中でも、例年8月10日の「按針祭 海の花火大会」は、伊東の夏を飾る最大のイベントとなっており、1時間に約10,000発の花火が伊東海岸一帯から同時に打ち上がります。伊東の夜空一面を彩る壮大な花火は見物客を飽きさせません。他にも例年8月22日に開催される「伊東温泉箸まつり花火大会」は珍しい手筒花火と打上花火を行い、その迫力は多くの見物客を盛り上げます。



按針祭海の花火大会



城ヶ崎海岸



大室山

4.伊東市の景勝地

自然あふれる本市には、たくさんの景勝地が点在しています。特におすすめの景勝地として「大室山」、「巢雲山」、「松川」、「オレンジビーチ」、「小室山」、「城ヶ崎海岸」、「汐吹海岸」、「一碧湖」の8か所を「伊東八景」と題して紹介しています。

多くの方々に本市の魅力を知っていただき、そしてお越しいただくためにも情報発信を続けて参ります。この記事をご覧になり、少しでも伊東にご興味をお持ちいただけましたら、ぜひ伊東温泉にお越しください。

豊かな自然と、暖かい温泉とともに、皆様のお越しをお待ちしております。

5.お問合せ

伊東市役所 観光課
TEL:0557-36-0111(代表)
HP:<https://itospa.com/>



～港こぼれ話～

「港と私」



元静岡県清水港管理局長
藤浪 哲也

「港こぼれ話」の依頼が来た時、「もう俺?」と思わず言っていました。「前は誰だっけ?」と確かめたら、清水港管理局長前任のHさん、「納得」。

さて、前置きはともかく本文に進みますが、「こぼれる」ような話はないと思うので、あらかじめご承知ください。

1999年4月、港湾企画室に配属となったのが、港湾とのお付き合いの始まりです。私は、清水区三保に生まれ育ちましたが、県職20年にして「清水港のこと、何も知らないじゃん。」と思い、異動希望に初めて「港湾」と書いたところ、当時のY専門監が「港湾希望は君だけ」と。「港湾って、嫌われてるの?」。

主な仕事は、田子の浦港の港湾計画改訂。何を改訂したのか、忘れてしまいましたが、初めての港湾用語に四苦八苦したのを覚えています。貨物量予測、最大貨物船設定(DWT:デッドウェイトって?)、必要岸壁水深(ナナハンって?)、必要バースって?「貨物量なんて経済状況で変わるから、10年先なんてわかんないよ。」と思いながら、国との調整で徹夜もして頑張りましたが、改訂直前で港湾整備室工事係に異動。ここでは、清水港の新興津地区埋立と田子の浦港のダイオキシン対策(本来は環境係ですが、特命が下り)が記憶に残っています。特にダイオキシンには思い入れがあったので、次の異動は「田子の浦港だ!」と決め込んでいたのですが、「港」の字はあるものの静岡空港建設事務所になり、港湾とはしばらくのお別れとなりました。

余談ですが、私は「漁港課」「空港対策室」にも在籍したので、「港湾」と合わせて、県庁「3港」を制覇したのは私が初めて、と密かに自負していますが、違っていたら教えてください。

港を離れて8年、予期せず清水港管理局技監の辞令が出ました。整備課長兼務で工事総括なのですが、

現場経験は皆無。適当にがんばろうとしていたら、悪夢の出来事が...

電源ケーブルの損傷で、係留装置に固定できなかった袖師埠頭のコンテナクレーンを猛烈な「風台風」が襲ったのです。逸走防止装置を締め車輪止めを設置していましたが、暴風に耐え切れず5号機が動き出し4号機に激突!心配でモニターを見ていた私は、スローモーションのように動く5号機を忘れることができません。結果、4号機は廃棄。新興津コンテナターミナルが稼働していたので、コンテナは関係者の努力により何とか捌くことができました。本当にありがとうございました。一方、毎日のマスコミ報道や事後処理で、生まれて初めて「胃が痛くなる」経験をさせていただきました。実は、土木職役付3人が合わせて3億円の公務員保険に入っており、何とかこの額で撤去費用が収まるようにと祈っていましたが、私たちには請求されず済みました。「ほっ。」



被災した4号機

コンテナクレーンはトラクターでも引っ張れるそうです。「電源ケーブルを切っても、係留装置まで移動すればよかった。」と、後悔先に立たず。現職の皆さんには、知っておいて欲しいものです。

変形して重心が分からない重さ約1千トンの4号機の

撤去には、2本腕のクレーン船を使いました。不謹慎ですが、初めて見た私は「格好いい!」と思いました。ちなみに解体処分費用は、鋼材と再利用機器が高く売れたため、ほぼゼロだったと聞きましたが、本当ですか?



4号機を吊り上げた起重機船

また異動の季節です。「そろそろ県庁に戻る頃合いかな。」と覚悟していましたが、何と田子の浦港管理事務所。かつての情熱はありませんが、「ダイオキシン対策ができるかな?」くらいの気持ちで行ったところ、恐ろしいことが起きていました。前年の台風による漂砂で中央航路が埋塞、海岸にあった50t消波ブロックも飛ばされて来たそうです。港は約1ヵ月間大型船が入港できないという前代未聞の災害、私が赴任した時には解消していましたが、台風のためにドッキドキ。通過後はダグポートを借りて、職員自らが深淺測量をする日々が続きました。今では国による保全工事が行われていますが、心配は尽きませんね。

また一方では、令和3年、4年と河川からの流入土砂災害が発生し、本港の宿命である「維持浚渫」が新たなフェーズに入った予感がします。浚渫と言えば、ダイオキシン対策も最終段階で、早く「クリーン宣言」ができるといいですね。

港との最後?のお付き合いは清水港管理局、客船ブームで注目的。歓迎式典とともに船内見学があり、10数隻も見る事ができました。船長席にも座らせてもらいましたよ。これで満足したので、クルーズしたことはありません。

海外ポートセールスも楽しくできました。シンガポール、香港、上海、台北、釜山、ソウルの船社を訪問しました。「清水港に来てくれますか?」の問いに「荷物があ



船長席に座る筆者



九州ポートセールス

れば。」の回答、集荷努力は必須です。港セミナーや荷主訪問を続けてください。また、RORO航路が始まり、九州にもセールスに行きましたよ。

楽しかったと言えば、NPO法人「夢生の会」と合同の「港かっぱれ」。技監の時から参加して10回目。コロナウィルスの影響で3年ぶり、思い切り踊りました。2ヵ月経っても膝はガクガクしていますが。



かっぱれ集合

長々と取り留めのないことを綴って来ましたが、再就職先では、田子の浦港最大の課題である「浚渫」のお手伝いをさせて頂いています。しばらくは、港とのご縁を続けたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

港湾関係行事予定

(令和5年2月1日～令和6年1月31日)

※日程は予定であり、諸事情により変更・中止となる場合があります。

日 程	内 容
1月中旬～3月上旬	牡蠣小屋(湖西市 海湖館)
2月4日(土)	Sea級グルメフェスタin沼津2023(沼津市 沼津港)
3月4日(土)～3月5日(日)	Port of Shimizu フォトコンテスト2022展覧会(JR静岡駅北口広場)
3月上旬	伊豆多賀わかめまつり(熱海市 長浜海浜公園)
4月8日(土)	いとう漁協水産祭り(伊東市 伊東魚市場内)
4月15日(土)・5月13日(土)	春季熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
4月16日(日)	ポータウンパーティー(沼津市 沼津港)
4月29日(土・祝)	大井川港朝市(焼津市 大井川港)
4月下旬	さがら草競馬大会(牧之原市 相良海岸)
4月～10月	体験企画「うなぎつかみ・さかなつかみ・釜揚げしらす」(湖西市 海湖館)
5月7日(日)～6月25日(日)	地引網体験(伊東市 伊東海岸)※毎週日曜日のみ
5月19日(金)～5月21日(日)	第84回黒船祭(下田市内 各会場)
5月27日(土)	ぬまつ港の街BAR(沼津市 沼津港ほか)
5月上旬	春の熱海ビール祭り(熱海市 渚親水公園)
5月下旬	御前崎シーサイドピクニック(御前崎市 マリンパーク御前崎)
5月下旬	御前崎みなとかつお祭り(御前崎市 御前崎魚市場)
5月下旬	清水港フラワーフェスタ2023(静岡市 清水マリンターミナル)
5月下旬予定	初島ところ天まつり(熱海市 Shima Terrace初島)
5月予定	なぶら祭り(御前崎市 海鮮なぶら市場)
5月予定	御前崎灯台まつり(御前崎市 御前崎灯台)
5月もしくは8月下旬	SHIMODA RENDEZVOUS2023(下田市内)
6月下旬～7月中旬	静波海水浴場海開き(牧之原市 静波海岸)
7月16日(日)	踊夏祭・トライアスロン大会(焼津市 大井川港)
7月20日(木)～7月23日(日)	国際カジキ釣り大会(下田沖)
7月21日(金)	網代ベイフェスティバル(熱海市 網代港)
7月28日(金)・8月5日(土)・8月8日(火)・8月18日(金)・8月22日(火)・8月25日(金)	夏季熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
7月上旬	初島花火大会(熱海市 初島第二漁港)
7月上旬	御前崎海水浴場海開き(御前崎市 マリンパーク御前崎)
7月上旬～7月中旬	さがらサンビーチ海開き(牧之原市 相良海岸)
7月中旬	マリンフェスタ(下田市内)
7月中旬	白浜海の祭典・花火大会(下田市 白浜大浜海岸)
7月中旬	田子の浦港海上安全祈願祭(富士市 田子の浦港)
7月中旬	マリンスポーツフェスタ(御前崎市、牧之原市 御前崎マリーナ)
7月	浜名湖ミナトリング(湖西市 浜名港)
7月下旬もしくは8月上旬	CABO VIKING CUP(下田沖)
8月4日(金)	第76回初島・熱海間団体競泳大会(熱海市 熱海湾)
8月4日(金)～8月6日(日)	第74回清水みなと祭り(静岡市 清水港)
8月6日(日)	宇佐美夏祭り打上花火(伊東市 宇佐美海岸)
8月8日(火)	弓ヶ浜花火大会(賀茂郡南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
8月8日(火)	「灯籠の流れ」打上花火(伊東市 伊東海岸)
8月9日(水)	「太鼓の響き」打上花火(伊東市 伊東海岸)
8月10日(木)	按針祭海の花火大会(伊東市 伊東海岸)
8月14日(月)	夏季納涼花火大会(下田市 下田港)
8月14日(月)	やんもの里花火大会(伊東市 八幡野港)
8月14日(月)	焼津海上花火大会(焼津市 焼津港外港)
8月15日(火)	川奈港いるか浜花火大会(伊東市 いるか浜)
8月22日(火)	伊東温泉箸まつり花火大会(伊東市 伊東海岸)
8月上旬	静岡県知事杯石廊崎レース(下田沖)
8月上旬	Trans-Sagami Yacht Race(下田沖)
8月上旬	あたまビールまつり(熱海市 渚親水公園)
8月中旬	伊豆多賀海上花火大会&ビールフェスティバル(熱海市 多賀湾)
8月中旬	伊豆多賀温泉百八体流灯祭&ビールフェスティバル(熱海市 多賀湾)
8月中旬	網代温泉海上花火大会(熱海市 網代湾)
8月	御前崎みなと夏祭り(御前崎市 マリンパーク御前崎)
8月もしくは9月	さがら海上花火大会(牧之原市 相良海岸)
9月18日(月・祝)・10月14日(土)	秋季熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
9月	ビッグシャワー海洋浴の祭典(下田市 吉佐美大浜)
10月28日(土)・10月29日(日)	第14回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in沼津(沼津市 沼津港)
10月上旬	大井川港釣り大会(焼津市 大井川港)
10月中旬	第23回清水港興津フェア(静岡市 興津国際流通センター)
10月下旬	御前崎マリンパークマラソン(御前崎市 マリンパーク御前崎)
11月19日(日)	田子の浦ポートフェスタ2023(富士市 田子の浦港)
11月中旬	清水港マグロまつり「清水・マグロ博2023」(静岡市 清水港)
11月	御前崎市大産業まつり
12月3日(日)	忘年熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
12月23日(土)	とっておき冬花火大会(伊東市 伊東海岸)
令和6年1月1日(月・祝)	初日なぶらイベント(御前崎市 観光物産会館)
令和6年1月中旬	第58回伊東オレシビーチマラソン2024(伊東市 国道135号バイパス)

編集後記 |

今年度は、様々なイベントが3年ぶりに開催されるようになりました。
港周辺にも賑わいが戻ることを願い、明るい話題が増えることを楽しみにしています。
新しい年が皆様にとって良い一年になりますようにお祈り申し上げます。(K.H.)

当会では、会報誌面充実のため皆様からの港に関する情報やニュース・寄稿をお待ちしています。
関係団体の活動、イベントPRなど…どんな些細な事でも構いません。詳しくは下記連絡先までご連絡ください。